

2008年(平成20年)11月26日

各 位

本店所在地 東京都千代田区一番町8番地  
会社名 そーせいグループ株式会社  
(コード番号 4565 東証マザーズ)  
代表者 代表執行役社長 CEO 田村 眞一  
問い合わせ先 代表執行役副社長 前川 裕貴  
電話番号 03-5210-3290(代表)

### マラリア治療及び予防薬 RS(+) メフロキンの導出契約締結について

当社グループは、この度 Treague Ltd. (以下 Treague 社、英国)と、当社グループが所有するメフロキン RS(+)異性体関連知的所有権及びノウハウを、マラリア治療及び予防を目的として導出する契約を締結しましたのでお知らせいたします。

メフロキンは効果の高い抗マラリア薬として承認されており、治療薬 (artesunate との併用) および予防薬 (単剤療法) として使用されています。有効性の高さおよび半減期の長さから本ラセミ体のメフロキンは臨床的意義が高いものの、精神神経系の副作用等から慎重な投与が必要とされています。しかしながら、メフロキンの受容体への結合の立体選択性から、異性体である RS(+)メフロキンは精神神経系への副作用を軽減する可能性を有していると考えられます。Treague 社は、マラリア削減に努めるジュネーブの非営利組織である Mediciens for Malaria Venture(MMV)と協力して、マラリア流行国における治療用 RS(+)メフロキンを開発いたします。さらに Treague 社はこれをマラリア予防薬として開発、市販する計画です。

当社は RS(+)メフロキンをサイトカイン調節作用に基づき、開発コード AD 452 として調節リウマチ治療を目指して開発して参りました。しかしながら臨床第Ⅱ相試験では、安全性は確認されたものの十分な治療効果が認められず、2006年に開発を中止いたしました。

当社グループ代表執行役社長田村眞一は次のように述べております。「より安全且つより忍容性が高い可能性を有している抗マラリア薬の開発に貢献できることを大変喜ばしく思っております。」

Treague 社の開発&メディカルディレクター、ロバート・タンズレイ博士は次のように述べています。「そーせいで実施された前臨床及び臨床試験結果をベースにすることにより、当社は、現在使用されている治療薬に比べ臨床的優位性のある、効果的な抗マラリア薬を迅速に開発する機会を得られたと考えています。」

編集者の方々への追記：

### **そーせいグループ株式会社**

そーせいグループは医薬品開発に注力するバイオ医薬品企業として、独自のプロダクト・ディスカバリー（開発品創出機能）と開発戦略を有しております。既知の医薬品および医薬品候補化合物の新規用途を探索する手法により、医薬品開発に伴うリスクを低減しうるビジネス戦略を構築し、また、日本および欧米市場間の医薬品の導入・導出を通じて独自の事業展開を目指しております。

そーせいについての詳細な情報は、[www.sosei.com](http://www.sosei.com) をご覧下さい。

### **Treague 社**

Treague 社（英国、ケンブリッジ）は、マラリア治療用 RS(+)メフロキンを開発する目的で 2007 年に設立された非営利の製薬企業です。

Treague 社についての詳細な情報は、[www.treague.com](http://www.treague.com) をご覧下さい。